

- 2日 (新共同訳)<sup>6:17</sup>主よ、彼の目を開いて見えるようにしてください  
(新改訳)<sup>6:17</sup>どうぞ、彼の目を開いて、見えるようにしてください。
- (18) この異邦の民を打って目をくらましてください  
どうぞ、この民を打って、盲目にしてください。
- (20) 主よ、彼らの目を開いて見えるようにしてください  
主よ。この者たちの目を開いて、見えるようにしてください。
- (23) アラムの部隊は二度とイスラエルの地に来なかった。  
それからはアラムの略奪隊は、二度とイスラエルの地に侵入して来なかった。
- 3日 □2 つめ  
<sup>6:25</sup> サマリアは大飢饉に見舞われていたが、...<sup>27</sup> 主が救ってくださらなければ、...<sup>29</sup> わたしの子供を煮て食べました。  
<sup>6:25</sup> サマリヤには、ひどいききんがあった。...<sup>27</sup> 主があなたを救われないのなら、...<sup>29</sup> 私たちは、私の子どもを煮て、食べました。  
□ (どれもが当てはまるように思えます。どう思いますか。)
- 4日 □3 つめ  
<sup>7:5</sup> そこにはだれもいなかった。  
<sup>7:5</sup> 見ると、なんと、そこにはだれもいなかった。
- (8) □3 つめ  
飲み食いした後、銀、金、衣服を運び出して隠した。  
食べたり飲んだりして、そこから、銀や金や衣服を持ち出し、それを隠しに行った。

- (9) □3 つめ  
わたしたちはこのようなことをしてはならない。...さあ行って、王家の人々に知らせよう。  
私たちのしていることは正しくない。...さあ、行って、王の家に知らせよう。
- 5日 □2 つめ  
<sup>8:2</sup> 婦人は直ちに神の人の言葉どおりに行動し、  
<sup>8:2</sup> そこで、この女は神の人のことばに従って出発し、
- (5) □1 つめ  
神の人が死人を生き返らせたことをゲハジが王に語り聞かせていると、  
彼が王に、死人を生き返らせたあのことを話していると、
- (6) この婦人の物をすべて返しなさい。またこの地を後にした日から今に至るまでの畑のすべての収穫も返しなさい。  
彼女の物は全部返してやりなさい。それに、彼女がこの地を離れた日から、きょうまでの畑の収穫もみな、返してやりなさい。
- 6日 □3 つめ  
<sup>9:6</sup> 若者は彼の頭に油を注いで言った。  
<sup>9:6</sup> そこで若い者は油をエフーの頭にそそいで言った。
- (2) □2 つめ  
<sup>2</sup> その仲間の間から立たせ、奥の部屋に連れて行き、<sup>3</sup>...あなたをイスラエルの王とする  
<sup>2</sup> その同僚たちの中から彼を立たせ、奥の間に連れて行き、<sup>3</sup>...イスラエルの王とする。

(7) □3 つめ

(新共同訳)あなたはあなたの主君アハブの家を撃たねばならない。

(新改訳)あなたは、主君アハブの家の者を打ち殺さなければならない。

7日 □3 つめ

(新共同訳)<sup>9:22</sup>あなたの母 イゼベルの姦淫とまじないが盛んに行われているのに、何が無事か。

(新改訳)<sup>9:22</sup>何が元気か。あなたの母 イゼベルの姦淫と呪術とが盛んに行なわれているかぎり。

(25) □3 つめ

彼を イズレエル人ナボトの所有地の畑に運んで投げ捨てよ。

これを運んで行き、イズレエル人ナボテの所有地であった畑に投げ捨てよ。

(25) □3 つめ

わたしがお前と共に馬に乗って 彼の父アハブに従って行ったとき、主がこの託宣を授けられたことを思い起こせ。

私とあなたが馬に乗って 彼の父アハブのあとに並んで従って行ったとき、主が彼にこの宣告を下されたことを思い出すがよい。

8日 □3 つめ

<sup>10:5</sup>わたしたちには だれをも王として立てるつもりがありません。あなたの目に良いと映ることをなさってください。

<sup>10:5</sup>だれをも王に立てるつもりはありません。あなたのお気に召すようにしてください。

2015年7月号

(7) □1 つめ

彼らは王子たちを捕らえ、七十人を残らず殺し、その首を籠に入れ、イズレエルにいるイエフのもとに送った。

彼らは王の子どもたちを捕らえ、その七十人を切り殺し、その首を幾つかのかごに入れ、それをイズレエルのエフーのもとに送り届けた。

(10) □3 つめ

主はその僕エリヤによって お告げになったことを実現された。

主は、そのしもべエリヤによって お告げになったことをなされたのだ。

9日 □1 つめ

<sup>10:23</sup>主に仕える者があなたたちと一緒にいることがないよう、ただ バアルに仕える者だけがいるように、よく調べて見よ。

<sup>10:23</sup>主のしもべたちがひとりもいないようにし、ただ、バアルの信者たちだけがいるようにしなさい。

(25) □3 つめ □2 つめ

入って、彼らを討て。一人も外に出すな。」近衛兵と侍従たちは彼らを 剣にかけて殺し、

入って行って、彼らを打ち取れ。ひとりも外に出すな。」そこで、近衛兵と侍従たちは 剣の刃で彼らを打ち、

12日 <sup>13:11</sup>イスラエルに罪を犯させたネバトの子 ヤロブアムの罪を全く離れず、それに従って歩み続けた。

<sup>13:11</sup>イスラエルに罪を犯させたネバテの子 ヤロブアムのすべての罪から離れず、なおそれを行ない続けた。

14日 (新共同訳)<sup>14:26</sup> 主は、イスラエルの苦しみが非常に激しいことを御覧になったからである。

(新改訳)<sup>14:26</sup> 主がイスラエルの悩みが非常に激しいのを見られたからである。

(27) しかし、主はイスラエルの名を天の下から消し去ろうとは言われず、主はイスラエルの名を天の下から消し去ろうとは言っておられなかった。

15日 <sup>15:17</sup> サマリアで十年間王位にあった。

<sup>15:17</sup> サマリヤで十年間、王であった。

(19) □3 つめ

アッシリアの王プルがその地に攻めて来たとき、メナヘムは銀一千キカルをプルに貢いだ。

アッシリヤの王プルがこの国に来たとき、メナヘムは銀一千タラントをプルに与えた。

16日 <sup>15:28</sup> 彼は主の目に悪とされることを行い、イスラエルに罪を犯させたネバトの子ヤロブアムの罪を離れなかった。

<sup>15:28</sup> 彼は主の目の前に悪を行ない、イスラエルに罪を犯させたネバテの子ヤロブアムの罪を離れなかった。

17日 <sup>16:7</sup> わたしはあなたの僕、あなたの子です。...わたしを救い出してください。

<sup>16:7</sup> 私はあなたのしもべであり、あなたの子です。...私を救ってください。

19日 <sup>17:33</sup> このように彼らは主を畏れ敬うとともに、移される前にいた国々の風習に従って自分たちの神々にも仕えた。

<sup>17:33</sup> 彼らは主を礼拝しながら、同時に、自分たちがそこから移された諸国の民のならわしに従って、自分たちの神々にも仕えていた。

(35) 他の神々を畏れ敬ってはならない。

ほかの神々を恐れてはならない。

25日 <sup>21:2</sup> 主の目に悪とされることを行なった。

<sup>21:2</sup> 主の目の前に悪を行なった。

26日 <sup>22:8</sup> わたしは主の神殿で律法の書を見つけました

<sup>22:8</sup> 私は主の宮で律法の書を見つけました

(11) □2 つめ

王はその律法の書の言葉を聞くと、衣を裂いた。

王は律法の書のことばを聞いたとき、自分の衣を裂いた。

(13) この見つかった書の言葉について、わたしのため、民のため、ユダ全体のために、主の御旨を尋ねに行け。

行って、この見つかった書物のことばについて、私のため、民のため、ユダ全体のために、主のみこころを求めなさい。

27日 (b)<sup>23:2</sup> すべての民と共に主の神殿に上り、主の神殿で見つかった契約の書のすべての言葉を彼らに読み聞かせた。

<sup>23:2</sup> そこで彼は、主の宮で発見された契約の書のことばをみな、彼らに読み聞かせた。

(3) (a)

(新共同訳)この書に記されているこの契約の言葉を実行することを誓った。

(新改訳)この書物にしるされているこの契約のことばを実行することを誓った。

28日 □1 つめ

<sup>23:25</sup> 彼の後にも、彼のような王が立つことはなかった。

<sup>23:25</sup> 彼の後にも 彼のような者は、ひとりも起こらなかった。

(27) □1 つめ

わたしはイスラエルを退けたようにユダも わたしの前から退け、  
わたしがイスラエルを移したと同じように、ユダもまた、わたしの前から移す。

29日 <sup>24:10</sup> バビロンの王ネブカドネツアルの部将たちが エルサレム に攻め上って来て、この都を包囲した。

<sup>24:10</sup> バビロンの王ネブカデネザルの家来たちが エルサレム に攻め上り、町は包囲された。

(15) 彼は ヨヤキン を捕囚としてバビロンに連れ去り、その王の母、王妃たち、宦官たち、国の有力者たちも、捕囚としてエルサレムからバビロンに行かせた。

彼はさらに、エホヤキン をバビロンへ引いて行き、王の母、王の妻たち、その宦官たち、この国のおもだった人々を、捕囚としてエルサレムからバビロンへ連れて行った。

30日 <sup>25:3</sup> 都の中で飢えが厳しくなり、国の民の 食糧 が尽き、

<sup>25:3</sup> 町の中では、きぎんがひどくなり、民衆に 食物 がなくなった。

2015年7月号

(4) 王はアラバに向かって行った。

カルデヤ人が町を包囲していたので、王はアラバへの道を行った。

(9) 主の神殿、王宮、エルサレムの家屋を すべて焼き払った。

主の宮と王宮とエルサレムのすべての家を焼き、そのおもだった 建物をことごとく火で焼いた。

(11) <sup>11</sup> 親衛隊の長ネブザルアダンによって 捕囚とされ、連れ去られた。

<sup>12</sup> この地の 貧しい民の一部は、親衛隊の長によってぶどう畑と耕地にそのまま 残された。

<sup>11</sup> 侍従長ネブザルアダンは、町に残されていた残りの民と、バビロンの王に降伏した者たちと、残りの群衆を捕らえ移した。<sup>12</sup> しかし、侍従長は国の 貧民の一部を残し、ぶどう作りと農夫とにした。

31日 <sup>25:28</sup> バビロンの王は彼を 手厚くもてなし、...<sup>29</sup> ヨヤキンは 獄中の衣を脱ぎ、生きている間、毎日欠かさず 王と食事を共にすること となった。<sup>30</sup> 彼は生きている間、毎日、日々の糧を常に王から支給された。

<sup>25:28</sup> 彼に 優しいことばをかけ、...<sup>29</sup> 彼は 囚人の服を着替え、その一生の間、いつも 王の前で食事をした。<sup>30</sup> 彼の生活費は、その一生の間、日々の分をいつも王から支給されていた。

[6月号の落穂拾い]

(p37) ② 金曜日の日没から始まる

(新共同訳) 安息日(あんそくび)

(新改訳) 安息日(あんそくにち)